

アイドルグループの成人式にみる和装とその傾向

—AKB48 グループを例に—

太田 茜

毎年成人の日付近に行われる二十歳の集い（成人式）には多くの女性が和装、特に振り袖で式典に参加する。芸能の世界でも同じ時期に振り袖姿の写真が公開されることが多く、特に女性アイドルグループはその年度に二十歳を迎えるメンバーを集めて成人式イベントを行うことが定番となりつつある。彼女たちの振り袖姿は新聞やニュース等で報道されることが多いが、着用される色は様々であるもののオーソドックスな着付けとコーディネートが行われていることが明らかになった。

キーワード：振り袖 成人式 和装

1. はじめに

二十歳の集い（以降成人式と記述する）では式典参加の際に女性の出席者の多くが和装、特に未婚女性の正装である振り袖を着用している。日本における現状の形態の成人式は1946年に埼玉県北足立郡蕨町（現在の埼玉県蕨市）において「青年祭」が行われたことがルーツだとされている¹⁾。晴れ着を着ないという取り決めをしているごく一部の地域²⁾を除いて毎年成人の日前後に各地方自治体によって行われる成人式の式典では和装で参加する女性の姿が一般的であり、芸能の世界でも同様にその年度に二十歳となる芸能人の振り袖についてのニュースが流れることがある。特に女性アイドルグループでは近年グループ独自で成人式を行い、その様子をファンが報道を通して知ることができるようになっており、グループによってはその時の写真や写真を使用したグッズを販売していることが確認されている。そこでそのような女性アイドルグループの一つであるAKB48の成人式を資料とし、どのような振り袖姿のスタイリングがされているか、色みや着こなしに変遷があるかとそれが一般的な振り袖のスタイリングと比較して特徴があるかを検討した。AKB48は現在活動している女性アイドルグループの中では新曲のリリース頻度や売り上げ等において一時期のような勢いはないものの、モーニング娘。について活動年数が長くオリコン週間シングルチャート1位を連続50作という記録を獲得している³⁾こと、継続してメンバーの成人式の間を設けており類似グループの前例を作っていることから調査対象とした。

2. 調査方法

AKB48が新成人になるメンバーの成人式を神田明神で行い、その後メディア取材に答えるようになった2009年からの資料を収集し、振り袖の地色、柄、帯の色、帯締め及び帯揚げの色、着付けやスタイリングについての分類を行った。各種ニュースの写真が主な資料であるため色味については大まかな分類を行うのみとし、特に付け加えられた小物があればそれを記録することとした。使用するのはいわゆるニュースサイトのうちアイドル総合情報サイトである「スクランブルエッグ on the web」⁴⁾とポップカ

ルチャーに特化していると自称している「音楽ナタリー」⁵⁾を中心に使用した。また、同じ年度の振り袖カタログとして世界文化社が発行していた『別冊婦人画報 振袖大好き!』を資料として AKB48 メンバーが着用している振り袖の色味が一般的な流行と呼応しているのかの検討を行った。

3. AKB48 について

AKB48 は 2005 年に「会いに行けるアイドル」をコンセプトとして総合プロデューサー秋元康氏と振付師の夏めぐみ氏を中心となって結成されたアイドルグループである⁶⁾。結成当初のメンバーは 20 名であり、最初から秋葉原ドン・キホーテ 8 階に専用劇場を持ち、そこで連日公演を行うスタイルのグループは珍しいこと、メンバーたちとファンの距離が近いことを特色としている。また、チーム制であること、センターと呼ばれる楽曲の中心人物が曲ごとにかかわること、そのセンターの決め方はいくつかバリエーションがあること等の他に専属の衣装チームが一貫して衣装を手掛けていることが特徴としてあげられる。グループ結成当時の衣装は京都造形大学の学生がデザインしたものもあるが⁷⁾、メジャーデビュー以降は衣装クリエイティブディレクター茅野しのぶが衣装のデザイン、作成、管理を株式会社オサレカンパニーとして行っている。それらの衣装はしばしばメンバーや卒業メンバーの SNS 等で言及される他、衣装展が行われることもあり AKB48 の人気の一端を担っているといえよう。しかしアイドル衣装についての論考は少なく、福村ら (2014)⁸⁾ がアイドル衣装についてのイメージ調査を行っている以外はステージ衣装制作及びライブでの演出の観点からの論考⁹⁾が存在するのみである。したがって今後アーカイブを兼ねた調査を行う事が求められるのではないかと考えられる。また、メンバーが卒業と呼ばれているグループからの脱退を行う際には「卒業ドレス」と呼ばれる専用の衣装がつくられることでも有名であり、それをメインとした衣装展も開催されている¹⁰⁾。さらに成人式ではメンバー自身が着用する衣装を選んでいることがうかがえる発言が複数あり、紳士向けのセットアップ¹¹⁾や手作りの振り袖で参加するメンバーが特に話題としてニュース記事の見出しになった年もある。しかし洋装を選んでいるメンバーは 2024 年 1 月までの時点では大阪を拠点とする姉妹グループ NMB48 に所属していた木下百花ただ一人であり、彼女はグループの中でも特に個性的で男性の扮装やいわゆるコスプレをするメンバーである¹²⁾ため、そのイメージを活かしたスタイリングだと考えられる。また、チェックの洋服地を使用して姉と製作したという振り袖で参加したのは博多を拠点とする姉妹グループ HKT48 に所属する外園葉月¹³⁾である。彼女もグループ 1 のファッション好きとして知られており、普段から自分で製作した衣装や小物を身に付けてステージに立っている。そのため成人式も洋服地で作った振り袖にベレー帽や靴といった洋装小物をあわせたスタイリングをしている。

4. 結果・分析

AKB48 は 2005 年に結成されたグループであるが、メンバーの成人式として劇場近くの神社での昇殿参拝をイベントとして行うようになったのは 2009 年からである。結成翌年の 2006 年 1 月の成人の日はメンバーの一人が自身の成人式出席のため劇場公演を欠席していることが記録されているが¹⁴⁾、2009 年は主要メンバーの中で 6 名が新成人となるためイベントとして扱うようになったと考えられる。本論では 2009 年から 2023 年までの 14 年分計 149 名 (内、2 名分は取材対応資料ではないもの) のメンバー写真を資料とした。各年の参加人数は表 1 の通りである。2023 年は予定では 6 名であったが、1 名が当日体調不良で欠席となったため、本人や実妹が X (旧 Twitter) や Instagram に後日投稿した地元の成人式に参加した際の写真を資料としている。また、写真は集合写真でのみしか確認できないメンバーもいるため帯や帯揚げ、帯締めの色は確認できないものもある。

まず、各年の新成人の数は表 1 の通りでばらつきがある。これは AKB48 自体が発足当時からメンバーの年齢層が幅広いことと、主力メンバー以外の多くのメンバーの卒業が二十歳未満である¹⁵⁾ことが原因

表1 各年の成人式参加人数

実施年	人数(人)
2009	6
2010	1
2011	7
2012	15
2013	7
2014	13
2015	7
2016	13
2017	8
2018	17
2019	11
2020	8
2021	17
2022	12
2023	6(5)

表2 振り袖の色分布

年	桃	赤	橙	黄	緑	青	紫	白	黒
2009	1	3		1	1				
2010	1								
2011	1	2			1	1		1	1
2012	5	3	1		2	1	1	1	1
2013	2				2	1	1		1
2014	2	5		1		1	2	1	1
2015	1	1	1	1	1			2	
2016		4		1	1	2	1	3	1
2017	1	3				2	1		1
2018	3	3		1		1	2	6	1
2019	2	4				1		2	2
2020	1	4		1					2
2021	4	4		1		1	1	3	3
2022	1	4		1	1	1		3	1
2023		1	1		2				2
計	25	41	3	8	11	12	9	22	17

であると推測される。前述のように帯や小物については写真で確認できないメンバーが複数いるものの、振り袖姿の着用イメージを左右するのは主に振り袖そのものの色で小物類はほとんど影響がないことが明らかになっている¹⁶⁾ため、今回は振り袖の色と柄を中心にして分析を行った。振り袖の地色を「ピンク・赤・オレンジ・黄・緑・青・紫・白・黒」に分けて集計し、実施年度ごとに点数を示したのが表2で、最も多い色を太線で囲って示した。色の分類はJIS Z 8721で使用されている色名R(赤)、Y(黄)、G(緑)、B(青)、P(紫)の5色をベースとし、頻出する赤系の色をさらに分類するために赤ではあるがそれより色の薄いピンク(桃)とRとYの中間色であるオレンジ(橙)、無彩色である白と黒を加えて分類を行った。全体の傾向としては赤とピンクが多いが毎年度出現するわけではない。また、着用したメンバーの多い色は赤(41名)、ピンク(25名)、白(22名)、黒(17名)、青(12名)で赤系統の色について多いのは白と黒であり、すべての年で着用されている色は存在しない。赤の振り袖は同時に4, 5人が着用する年が6年あり、ピンクは2年であった。しかし同時に同じ色の振り袖を着用するメンバーが最も多かった色は白であり、2018年に6人が着用している。この年は17名と多くのメンバーが新成人となり、1/3が白を着用していることになる。これは彼女達が振り袖を選ぶ際にセルフプロデュースを積極的に行い、意識しているかは不明であるがカラーイメージを活用して色味を選んでいることが原因ではないかと考えられる。また、昨今のアイドルグループではメンバー毎にペンライトの色などの担当カラーが設定されていることが多いが、成人式の振り袖の色についてはその制約はみられない。ここで振り袖の色の傾向をみるために各出版社で年に1回発行されている振り袖関連のムックを調査することとした。世界文化社発行の『振袖大好き!』は2003年から2021



図1 無地に近い振り袖
『振袖大好き! 2022-2023』世界文化社(2021)p.21

年まで翌年の成人式需要を主なターゲットに年1回発行されたムックで、振り袖の着用写真や着付け方、ヘアアレンジ、メイク等の情報に加えて「振り袖大好きクラブ」加盟店（以降FDC）の新作振り袖カタログも兼ねており、毎号50点弱の新作振り袖が掲載されている。これはあくまでカタログであるから成人式に出席する女性がそのままの人数比率で色や柄を選んでいるわけではないが、白と黒の振り袖はそれぞれ2～5点ずつの間を推移した後に2022年に白が7点、黒が10点と急激に数を増やして「人気の黒振袖¹⁷⁾」と説明がついているものも見られる。母数が異なるため単純な比率の比較はできないものの、無彩色の振り袖が急に増えて人気が増しているというのがFDCの認識であるが、2010年代から無彩色の振り袖の着用点数が多いAKB48の成人式での色の分布と傾向は異なっている。また、赤、ピンクの振り袖は年によってばらつきがあるものの2～10点前後の掲載があり、特に赤は「人気の赤地をエレガントに装う。不動の人気を誇る赤地を¹⁸⁾」「一生に一度は着たい誰もが憧れる赤¹⁹⁾」といった記述で振り袖の定番色としてカタログの掲載数を確保している。

柄については花柄が最も多いが、孔雀と音符（2019年）といった柄や、図2右のようなリボン（2022年）といった古典的な和服の柄ではない柄も出現している。無地は2021年と2023年に2名おり、そのうち1名は礼装用に五つ紋を入れる位置に花紋の入った振り袖である。また、柄の付け方は総模様、左肩を中心に下半身と袖に柄が配置されているもの、裾のみに柄が配置されているものが確認されたが最も多いのは左肩を中心に下半身と袖に柄が配置されているものであった。この柄の付け方の傾向は新作振り袖カタログでも同様である。しかし無地の振り袖は2009年から2022年までの14年分のカタログの中では存在せず、無地に近い裾のみの柄付けの振り袖や図1のような肩のみに柄のついたものが「最近、無地の振袖の人气が高まる中²⁰⁾」という記述と共に2021年発行の2022-2023年カタログで確認できたのみである。

着付けと小物づかいといったスタイリングに着目すると、図1のようなおはしりをとってくるぶしの隠れる丈で着付けて帯を締め、帯揚げや帯締めをするという一般的な着付け（以後スタンダードな着付けと称する）がほとんどであり、足元は足袋と草履をあわせるスタイリングである。しかし少数ではあるものの洋装小物を合わせるものや、着丈をアレンジしたものがみられた。洋装小物を合わせる場合はカチューシャ、帽子などの被り物や手袋、図2の左のように袖口からレースをのぞかせる、草履の代りにブーツやパンプス等をはくといったものが多い。他には帯揚げをリボンのように飾り結びにするもの（4名）、レースやパールのついた重ね襟をつけるもの（3名）、帯締めを飾り結びにする、大きな帯留めをつける、もしくはその両方を行うことがほとんどで一般的な小物を使ったア

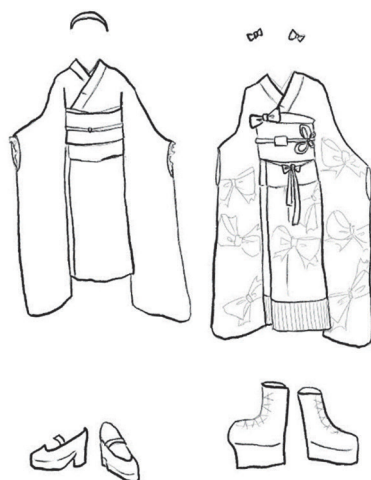


図2 着丈を短くする着付け、靴を組み合わせる例

左：佐藤紀星（2021年）、右：山邊歩夢（2022年）
筆者作成



図3 花魁風着付けの例
『着物 ageha2012』インフォレスト(2011) p.27

レンジの域を出ないものであった。着丈をアレンジしているメンバーは2名おり、いずれも図2のように膝下丈にして足元にアクセントとなるタイツやブーツを合わせている。2名とも衣装に強いこだわりがあることがファンに知られているメンバーであり、スタンダードな着付けを逸脱しすぎない範囲内で自分らしい着こなしをしているといえる。筆者は派手な服装をする出席者が多いことで知られる北九市の成人式を調査しており、特に図3のような花魁風と呼ばれる衿を大きく抜くもしくは肩を出すように着付け、帯を前で結ぶ着付けの有無を調査をしたことがある。北九州市内で和服のレンタルを主に行っている写真館に聞き取り調査をしたところ、花魁風着付けを希望する新成人は一定数いるものの、実際にはそのような着付けでの姿は前撮りなどの写真に残すのみで成人式当日の服装はスタンダードな着付けにする傾向がみられた²¹⁾。花魁風の着付けは式典には適切でないと考えするため、自分のしたい着こなしはあくまで記録として残すという使い分けをしているのである。

AKB48 グループのメンバーの装いにスタンダードな着付けが多い理由は神社への昇殿参拝を行うイベントであること、あくまでアイドルグループとしてのイベントであり花魁風着付けに代表されるようなスタンダードな着付けを大きく逸脱した着こなしは、前述のような荒れる成人式といった文脈での批判の対象となりやすいと考えられることが原因として考えられる。また、メンバーのステージ衣装にはフォーマルなものとかジュアルなものが存在し、彼女たちはそれを着ることで自然と場にあわせた服装がどのようなものなのかを体感しているため、フォーマルウェアである振り袖を着る際もどちらかといえば保守的なものを選択しがちなのではないかと考えられる。しかしその中でも一般的な振り袖カタログでは少なくとも2020年ごろまでは少数派であった白や黒といった無彩色ベースの振り袖を選ぶメンバーが2011年以降毎年いる事、総数として比較的多く出現している事はAKB48グループの振り袖スタイリングの特徴である。

殆どの振り袖はレンタルである可能性が高く近年では成人式イベントの後に衣装提供をした旨を和装業者がブログ等で発信することもあり、2021年～2023年はオンディーズ（株式会社一蔵）²²⁾、本論では取り上げていないが2024年は夢きらら（株式会社東樹苑）²³⁾ がそれぞれ衣装提供をしたことを報告している。このことから成人式イベントで着用された振り袖に宣伝効果が期待されていることがうかがえる。特に夢きららのブログではすべての振り袖が品番付きで紹介されており、実際にレンタル・購入ページへのリンクが用意されていることから広告効果を見込んでいることが明らかである。一般的にアイドルに限らず芸能人が着用した衣服が話題になって売り上げが増加するということは周知の事実であり、前述したようにAKB48はステージやプロモーションビデオの衣装が豊富で女性ファンを獲得する要素となっていることから、同じく服飾を扱うイベントとしての成人式についても呉服メーカーの注目度が高いとみなされていると考えられる。

5. まとめ

成人式の際の服装は和装が一般的であることは芸能の世界でも変わらず、特にアイドルグループがイベントとして行う成人式ではそれが顕著である傾向が明らかとなった。また、成人式用の振り袖カタログと比較を行ったところ赤やピンクが多く着用される傾向は同じであったが白や黒といった無彩色の地色の振り袖については若干異なる傾向がみられた。

また、メンバー自身が着る振り袖を選び、好みやファンに見せたい姿を演出していることがうかがえる。したがって色の偏りは多少あるものの多様な着姿をしているため、和装業者の側からみると画一的でないコーディネート提案が可能な点が芸能人をモデルに起用する中でも特にメリットなのではないかと考えられる。実際にメンバーが着用した振り袖をその後一般ユーザーが着用するかについては検討の余地があるが、振り袖の地色については白や黒等少数派の色味を彼女たちが定期的に着用することでいわゆる目が慣れた状態になっていって実際の成人式で着る振り袖として需要が増えたのではないかと考えら

れる。

また、姉妹グループやライバルグループとされる 46 シリーズ、他のアイドルグループでも同様のイベントを行っているため比較することでさらなる考察が行えると考えている。

(本研究は JSPS 科研費 22K02123 の助成を受けたものです)

資料とした URL 一覧 (いずれも最終閲覧は 2024 年 3 月 20 日)

- ・ 2009 年 AKB48 2009 年成人メンバー撮影会 (小嶋陽菜、佐藤由加理、秋元才加、梅田彩佳、大島優子、小原春香) スランブルエッグ 2009 年 01 月 14 日 <https://www.scramble-egg.com/artist/akb48/64seijin.htm>
- ・ 2011 年 AKB48 2011 年新成人メンバーが神田明神で振袖姿を披露 (スランブルエッグ) 2011 年 1 月 10 日 <https://www.scramble-egg.com/artist/akb48/142seijin2011.htm>
- ・ 2012 年 AKB & SKE メンバー 19 人が成人式「今年はもっと飛躍する」2012 年 1 月 9 日 (音楽ナタリー) <https://natalie.mu/music/news/62425>
- ・ 2013 年 AKB48 グループ 17 人が成人式「今日、飲み行こっか？」2013 年 1 月 14 日 (音楽ナタリー) <https://natalie.mu/music/news/83073>
- ・ 2014 年 AKB グループ過去最多 26 名が新成人「さらなる高み目指す」2014 年 1 月 13 日 (音楽ナタリー) <https://natalie.mu/music/news/107615>
- ・ 2015 年 AKB グループ「これから芽が出る」22 人が新成人に 2015 年 1 月 12 日 (音楽ナタリー) <https://natalie.mu/music/news/135976>
- ・ 2016 年 AKB48 グループ 32 名が新成人に「私たちは黄金の卵」2016 年 1 月 11 日 (音楽ナタリー) <https://natalie.mu/music/news/172067>
- ・ 2017 年 AKB グループ“花咲世代”32 名が成人式、松井珠理奈「今年は本気で 1 位を」2017 年 1 月 9 日 (音楽ナタリー) <https://natalie.mu/music/news/216141>
- ・ 2018 年 AKB48 グループ“黄金世代”41 名が新成人に、宮脇咲良「AKB の全盛期をもう一度」2018 年 1 月 8 日 13:25 (音楽ナタリー) <https://natalie.mu/music/news/264290>
- ・ 2019 年 AKB48 グループ新成人は“平成の大トリ世代”、荻野由佳「グループを引っ張っていきたい」2019 年 1 月 14 日 (音楽ナタリー) <https://natalie.mu/music/news/315953>
- ・ 2020 年 AKB48 グループ“令和出発世代”42 名が新成人に「新しい時代を切り開いていけるように」2020 年 1 月 13 日 (音楽ナタリー) <https://natalie.mu/music/news/362966>
- ・ 2021 年 コロナ禍で延期されていた「2021 年 AKB48 成人式」が開催 浅井七海、倉野尾成美、坂口渚沙ら 17 人が新成人に 2021 年 03 月 21 日 (ねとらぼ) <https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2103/21/news038.html>
- ・ 2022 年 AKB48 本田仁美、小栗有以ら 12 名が新成人に！“黄金のトライ世代”でグループを引っ張ると宣言 2022 年 1 月 10 日 (音楽ナタリー) <https://natalie.mu/music/news/461055>
- ・ 2023 年 AKB48 新成人メンバーは“ホップステップジャンプ世代”、吉田華恋「AKB って本当にかわいい」2023 年 1 月 9 日 (音楽ナタリー) <https://natalie.mu/music/news/508200>

参考文献

- 1) 松橋紀佳「成人式の変遷—主として蕨市成年式の事例から—」『蕨市立歴史民俗資料館研究紀要』20 号, 蕨市立歴史民俗資料館 (2023 年), pp.43-67,
- 2) 黒木重三郎「成人式の今昔 九州の僻地の「成人式」発祥物語り」『ヒトの教育: ヒトの教育を考える会 (ヒトの教育の会) 広報誌』第 7 号, ヒトの教育編集部 (2010 年) pp.48-57
- 3) ORICON NEWS 2024 年 3 月 19 日「AKB48・柏木由紀卒業シングル、歴代 1 位タイ 50 作連続 1 位「真冬にスケス

ケの衣装で踊ったのもいい思い出」【オリコンランキング】」<https://www.oricon.co.jp/news/2319019/full/> (2024 年 6 月閲覧)

- 4) スランブルエッグ on the web <https://www.scramble-egg.com/> (2024 年 6 月閲覧)
- 5) 音楽ナタリー <https://natalie.mu/music/> (2024 年 6 月閲覧)
- 6) 『涙は句読点 普通の女の子たちが国民的アイドルになるまで AKB48 公式 10 年史』日刊スポーツ出版社 (2016 年) p.8
- 7) 秋元康、オサレカンパニー監修『AKB48 衣装図鑑 放課後のクローゼット ～あの頃、彼女がいたら～』宝島社 (2017 年) p.36
- 8) 福村愛美、久富木菜々子「アイドルの衣装とファッションの流行との関係について」『倉敷市立短期大学研究紀要』58 号, 倉敷市立短期大学 (2014 年) pp.53-59
- 9) 大津耕陽、福島史康、高橋秀和、平原実留、福田悠人、小林貴訓、久野義徳、山崎敬一「Affinity Live: 演者と観客の一体感を増強する双方向ライブ支援システム」『情報処理学会論文誌』59 卷 11 号 (2018 年) pp.2019-2029
- 10) 大丸東京店 AKB48 大衣装展図録『AKB48 卒業ドレス図鑑』(2023 年)
- 11) 『スポーツニッポン』2017 年 1 月 10 日「NMB 木下異色スーツ」の小見出し
- 12) 秋元康、松永麻里監修『NMB48 衣装図鑑 踊る衣装たち』株式会社 KADOKAWA (2023 年) p.64
- 13) 日刊スポーツ 2019 年 1 月 14 日「HKT 外薗葉月、制作費 3000 円の振り袖で成人式」<https://www.nikkansports.com/entertainment/akb48/news/201901140000591.html> (2024 年 7 月閲覧)
- 14) 『涙は句読点』p.10
- 15) NIKKEI STYLE 2019 年 6 月 6 日「卒業は 20 歳と 25 歳 女性アイドルグループ決断の時」<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO44981880Y9A510C1000000/> (2024 年 3 月閲覧)
- 16) 神谷綾子、石原久代「振袖の着用イメージに関する色彩要因の検討」『繊維製品消費者学会誌』49 卷 12 号 (2008 年) pp.59-68
- 17) 『振袖大好き! 2022-2023』世界文化社 (2021) p.19
- 18) 『振袖大好き! 2009-2010』世界文化社 (2008) p.110
- 19) 『振袖大好き! 2019-2020』世界文化社 (2018) p.13
- 20) 『振袖大好き! 2022-2023』世界文化社 (2021) p.21
- 21) 太田茜「Acceptance of the odd style of wearing kimono at the coming-of-age ceremony」第 29 回国際服飾学会 議ポスター発表, 2022 年 8 月 (東京)
- 22) オンディースブログ (2021 年、2022 年、2023 年度成人式分)
 - ・2021 年 3 月 30 日 【衣装提供】AKB48 成人式でオンディースの振袖をご着用いただきました！
<https://www.ondine.jp/column/%e3%80%90%e8%a1%a3%e8%a3%85%e6%8f%90%e4%be%9b%e3%80%91akb48%e6%88%90%e4%ba%ba%e5%bc%8f%e3%81%a7%e3%82%aa%e3%83%b3%e3%83%87%e3%82%a3%e3%83%bc%e3%83%8c%e3%81%ae%e6%8c%af%e8%a2%96%e3%82%92%e3%81%94/>
 - ・2022 年 1 月 10 日 AKB48 成人式イベントにてオンディースが衣装提供いたしました！
<https://www.ondine.jp/news/20220110seijinsiki/>
 - ・2023 年 1 月 9 日 AKB48 成人式イベントにてオンディースが衣装提供いたしました！
https://www.ondine.jp/news/20230109seijinsiki_akb/
- 23) 夢☆きらら 知って得する！スタッフブログ【2024 年 AKB48 二十歳のつどい】メンバー着用の振袖をチェック！【成人式】
<https://yumekirara.com/cate01/2024011501/>

(受付 2024.3.22 受理 2024.7.26)

